

『生きた詩』

～ある時の祭典～

彼女は詩を欲しがった
なぜなら彼女は
私たちの存在が詩であることに
気づいていませんでした。

私たちの最高の詩は、紙上ではなく
心が楽しい歌に変わる一般一瞬の中にあります。
そのつかの間の瞬間に
それぞれのタッチが芸術的な行為となり
平凡な存在が崇高なものへと上華する。

一つ一つの視線が多くの愛撫を含んでいるとき
そして、喜びの交響曲を体全体で
伝えることができるとき
親愛なる人、
あなたはそれでも詩が必要ですか。

- T Newfields

(和訳: 前田晃代、西川大智、松本浩暉、と吉田典子)

開始: 1985年 名古屋市 完成: 2023年 横浜市